

史学科 課題

課題内容（発表資料）：自分で作成した何らかの成果（論文・年表・地図などの作品）を提出。

（国・地域・時代を問わず、自分で設定した歴史上のテーマ）

※「発表資料（課題）」の記入用紙は、各自で用意してください。様式・分量等に指定はありません。

なお、「発表資料（課題）」に加えて、「発表内容（発表予定のタイトルとその内容：800字程度）」の提出が必要になります。

※提出期間：8月19日（月）～9月2日（月）締切日必着

※9月14日（土）の適性確認日に、事前に提出した「発表資料（課題）」を基に、15分程度で発表し、教員との質疑応答を行います。

※参考資料として、以下の「**歴史達人入試体験記<世界史編>**」をご覧ください。

※総合型選抜（AO入試）第1回の詳細は、『入試ガイド2025』の6～7ページをご覧ください。

（『入試ガイド2025』のPDFファイル⇒<https://www.nara-u.ac.jp/admission/Guide2025.pdf>）



歴史達人入試
体験記
〈世界史編〉

高校の教科書に出てこない ヴィシーフランスを研究しました

ー歴史達人入試では、どのようなテーマでどのような成果を発表しましたか。

高校の教科書には出てこないのですが、1940年にフランス中部の町ヴィシーを首都に成立したフランスの政権、**ヴィシーフランス**をテーマに研究成果を発表しました。私の場合、オンラインでの発表でしたので、事前に作成した資料や年表を大学へ送り、それをもとに口頭で発表をおこないました。

ー研究テーマにたどりついたきっかけは何ですか。

もともと大学に入って現代ヨーロッパの歴史について学びたいと考えていたのですが、歴史達人入試のテーマを探しているなかで、**教科書に出てこないところ**にすごく**興味がわき**、取り組んでみようと思い立ちました。

ー研究成果をまとめるまでに、とくに心がけたことや苦心したことは何ですか。

教科書に出てこないため、関連する資料がすぐみつからないことに苦労をしました。そのため、地元の大きな図書館で参考図書を探したり、また、国立国会図書館のデジタル情報などもみて、調べを進めていきました。おもに自分自身で調べを進めましたが、高校の先生方のアドバイスももらいました。

佐藤 真真さん 徳島県立つるぎ高校

ー大学では、どのような研究をしようと考えていますか。

ヴィシーフランスについて、もっと深く研究していきたいと考えています。そのため、現在は大学の授業でドイツ語を一所懸命学んでいます。

ー先輩として受験生へアドバイスをお願いします。

とにかく自分が興味をもてるテーマを見つけることが大事だと思います。そうすれば、調べていく作業自体は苦労ではありませんし、むしろ楽しいことだと気づいていくようになります。

佐藤さんの発表資料